



おにぎり通信

2017年8月19日(土曜) 四ツ谷おにぎり仲間

こんにちは！私たちは毎週土曜日に、銀座・日比谷公園、東京駅周辺で生活されている方々を訪問しているボランティアグループです。

第99回全国高校野球選手権大会が、兵庫県西宮市の阪神甲子園球場で8月22日(火)までの予定で開かれ、毎日熱戦が繰り広げられています。

今年はこの高校が優勝するのでしょうか。若い力をスポーツにぶつける、一生懸命な高校生たちの活躍を応援したいものです。



☆8月7日(月)の福祉行動報告 どなたもお見えになられませんでした。

次回の福祉行動：8月21日(月)

朝8時30分までに東京駅丸の内南口地下に集合してください。(※集合場所が北口から南口に変更になりました。ご注意ください。)蒸気機関車の車輪が展示してある前に「おにぎり通信」を持った者が待機していますので、声をおかけください。

病院に行きたい方や、体を休めたい方と一緒にご希望の福祉事務所まで、ボランティアが同行いたします。福祉行動は原則として毎週月曜日に行います(月曜日が祝日のときは火曜日)。福祉行動は参加されるそれぞれの方が、ご自身の希望をご自身の言葉でハッキリと伝えることにより成り立ちます。

最寄りの福祉事務所

中央区福祉事務所…中央区築地 1-1-1 中央区役所4階
千代田区福祉事務所…千代田区九段南 1-2-1 3階

浦河べてるの家

経済効率のみを追求した、いわゆる「右肩上がりの追いつけ、追い越せ型の生き方」は格差社会を生み、社会の二極化を助長し、富める者をますます豊かにし、一方で貧しい者をますます貧しくしている。そして、そのことは経済的なことだけでなく人間の全存在を危機にさらしている。そんな批判がなされ、人々の生き方への問いが提起されてから十年以上がたっています。でも社会はなかなか良くなりません、むしろ格差社会はより激しくなっているような感じがします。

しかし、そんな現実のなかでも「降りていく生き方」を提唱し、「生きにくさ」を感じながらもさまざまな実践を積み重ねているのが浦河べてるの家です。

浦河べてるの家は、北海道浦河町という襟裳岬に近い海辺の町にある、古い教会の建物を作り直してできた、「精神障がい」のある人々の共同住宅です。そこでは、「弱さを絆に」ということを大切に、統合失調症という病を抱えながら共に生活をしています。

現在のべてるは、共同住宅だけでなく、大きなものになっていますが、初期のべてるの家は、けんかやめごとが日常茶飯事で、その度にそれぞれのメンバーが苦労を重ね、「三度の飯よりミーティング」と言われるように、くりかえしの当事者同士の話し合いが行われ、傷つけたり、傷つけられたりしながら、今のべてるに至っています。

べてるの家の人々は、問題が起こる度に話し合い、ぶつかりあい、みんなで悩み、苦労を重ねながら、自分たちの言葉で自分たちのことを語り、「そのままでもいい」、お互いの弱さを認め合って暮らす不思議な安らぎの場を生み出してきました。その生き方に魅かれた多くの人々がべてるの家を訪れたり、自分の生きている場所でべてるの家のような生き方に共感し、自分の生き方を変えようとしています。

べてるの家の人々には傷つけられ、つらい思いを強いられている人だからこそ他の人たちには気づくことができなかつたことに気づき、他の人たちに大切なことを伝える力があるような気がします。

おにぎりを包んでいるラップや読み終わった通信は放置せずに、ゴミ箱に入れるなどして片付けにご協力をお願いいたします。

おにぎりはかならずその日のうちにお召し上がり下さい。

受け取るのは、1人1個でお願いいたします。

四ツ谷おにぎり仲間 連絡先：080-7795-8535